

我が国周辺水産資源調査・評価等推進事業のうち漁場形成・漁況予測事業

定置網漁獲統計調査

笹木大地

目 的

定置網に関する詳細な漁海況情報を蓄積することにより、資源管理を行っていくための基礎資料とする。

方 法

三重県内の大型定置網漁場のうち、波切・片田・和具・阿曾・贅浦・方座・錦・長島・島勝・九鬼1号・九鬼2号・早田・梶賀・磯崎・木本・阿田和1号・阿田和2号の17漁場を対象に令和元(2019)定置年度(令和元(2019)年10月～令和2(2020)年9月)の魚種別漁獲量を調査した。

結 果

詳細については令和元定置年度三重県ブリ定置漁獲統計で報告したので、以下は結果の概略を示す。

令和元(2019)定置年度の総漁獲量は5,476トンで前年度の115.2%、過去10年平均の89.9%であった。魚種別ではブリ(6kg以上の銘柄)が1,991トンで全魚種の36.4%を占めた。次いでサバ類が816トン、マアジが386トン、ワラサ(2～6kg)が238トン、イナダ(0.5～2kg)が234トンの漁獲があり、上位5種で全体の66.9%を占めた。

漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、ウスバハギ(前年度比3.1倍)、カツオ(同2.3倍)、イナダ(同2.2倍)、イサキ(同2.0倍)、マイワシ(同1.9倍)、ハガツオ(同1.6倍)、ブリ(同1.5倍)、スルメイカ(同1.4倍)、サバ類(同1.4倍)、チダイ(同1.3倍)等であった。

逆に減少した魚種は、ヒラソウダ(前年度比31%)、マグロ類(同40%)、カタクチイワシ(同43%)、ムツ(同49%)、シイラ(同50%)、ツバス(同53%)、ウルメイワシ(同63%)、イシダイ(同75%)、サバフグ類(同77%)、ヤマトカマス(同80%)等であった。

ブリ(6kg以上)の全漁獲尾数は、276,773尾(前年度比160.2%)で、過去50年で4番目に多い漁獲尾数であった。ブリのまとまった入網は3月下旬から4月下旬に集中してみられ、4月だけで全体の76%、3月～4月では全体の98%が漁獲された。全漁獲合計の1日の最高漁獲尾数は、4月27日の23,776尾、次いで4月2日の21,853

表 1. 全漁場魚種別漁獲量

令和元(2019)年10月～令和2(2020)年9月			
順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	ブリ	1,990,566	36.351
2	サバ類	816,359	14.908
3	マアジ	385,975	7.049
4	ワラサ	238,441	4.354
5	イナダ	234,143	4.276
6	シイラ	231,444	4.227
7	マイワシ	219,242	4.004
8	イサキ	148,930	2.720
9	マルソウダ	89,444	1.633
10	サワラ	73,901	1.350
11	ツバス	70,632	1.290
12	カンパチ	69,443	1.268
13	マダイ	68,196	1.245
14	スルメイカ	61,616	1.125
15	カツオ	60,275	1.101
16	カタクチイワシ	56,771	1.037
17	その他アジ類	55,364	1.011
18	メジナ	33,441	0.611
19	イシダイ	33,372	0.609
20	ムツ	31,333	0.572
21	ウスバハギ	27,172	0.496
22	ウルメイワシ	25,336	0.463
23	ヤマトカマス	23,930	0.437
24	サバフグ類	23,382	0.427
25	アオリイカ	17,089	0.312
26	マグロ類	16,385	0.299
27	ヒラソウダ	15,121	0.276
28	ヒラマサ	13,603	0.248
29	ヘダイ	12,129	0.221
30	アカカマス	12,005	0.219
31	ハガツオ	11,252	0.205
32	チダイ	11,124	0.203
33	カマス類	10,327	0.189
34	トビウオ類	10,164	0.186
35	ヒラメ	9,531	0.174
36	ケンサキイカ	7,441	0.136
37	ゴショウダイ	7,048	0.129
38	タチウオ	6,368	0.116
39	クロダイ	6,147	0.112
40	スズキ	5,643	0.103
41	イワシ類	4,454	0.081
42	マルアジ	3,930	0.072
43	カワハギ	2,804	0.051
44	マトウダイ	2,509	0.046
45	ボラ	2,432	0.044
46	その他イカ類	2,072	0.038
47	ヒラスズキ	1,384	0.025
48	ウマヅラハギ	796	0.015
49	ヤリイカ	27	0.000
50	その他雑魚	215,476	3.935
	合 計	5,475,968	100.000

尾、4月22日の19,687尾、3月29日の18,844尾、4月24日の17,266尾、3月30日の14,182尾、4月26日の13,883尾、4月5日の12,209尾であった。前年に4日あった1万尾以上の漁獲は11日に増加し、近年では不漁となった前年を大きく上回った。

ワラサ(2~6kg未満)の全漁獲尾数は、53,145尾(前年度比78.0%)で、過去50年で34番目の漁獲尾数であった。ワラサの入網は4月下旬に集中し、4月だけで全体の49%が漁獲された。全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は、4月22日の3,638尾であった。次いで4月26日の3,322尾、4月29日の1,747尾、4月30日の1,712尾であった。前年に引き続き1万尾以上の漁獲は1日もなく、低調な漁獲となった。

イナダ(0.5~2kg)の全漁獲尾数は、217,695尾(前年度比1.5倍)、当歳魚が主体となる8月~9月を入れない集計期間では175,390尾(前年度比5.3倍)であっ

た。漁獲主体となった2019年生まれに加え、8月~9月は当歳魚が漁獲され、年度の合計では過去50年で3番目の漁獲尾数であった。

関連報文

三重県(2021):令和元年度定置年度 三重県ブリ定置漁獲統計.

笹木大地・久野正博(印刷中):三重県で漁獲されるブリの年齢構成. 黒潮の資源海洋研究.

笹木大地・竹内大介(印刷中):熊野灘で漁獲されるブリの脂肪含量. 第60回ブリ資源評価・予報技術連絡会議報告.